

第28回
NTTグループ
全国空手道選手権大会

開催日 令和6年11月10日（日）

場所 工学院大学（本館1Fアトリウム）

主催 NTTグループ空手道連盟

主管 NTT東京空手道部

NTTデータ空手道部

NTT通研空手道部

工学院大学古武術部

ごあいさつ



NTTグループ空手道連盟

会長 川添 雄彦

全国のNTTグループ空手道愛好家の皆様のご賛同とご協力により「第28回NTTグループ全国空手道選手権大会」を開催する運びとなりました。連盟会長としてご挨拶を申しあげます。

空手道は、沖縄発祥の徒手空拳の武術として発展し、武道の精神を継承することで術から道に発展した日本固有の武道であり伝統文化でもあります。技の習得のみならず、礼を修め、心身を鍛える方法として発展してきており、空手道愛好家の人格形成にも大きな役割を果たしています。

また、2021年に開催された東京オリンピックにおいて正式種目として採用されたように、空手道は日本国内に留まらず多くの国・地域に普及し、国際交流を通じて世界平和の実現、健全で有為な青少年の育成等に多大な貢献をしています。日本の伝統文化が広く世界に浸透していくことは誠に喜ばしいことであります。

本連盟は平成7年にNTT空手道連盟として設立し、今年で30年目の節目を迎えました。その間、空手道愛好家の交流を広げながら、平成14年にはNTTグループ空手道連盟と名称を改め、NTTグループ全国各地の空手道愛好家の集う場所として、技と心身の鍛錬と空手道を通じた交流に寄与してきています。

今回の大会においても、日頃から切磋琢磨した空手道の技と精神力を遺憾なく発揮しあうとともに、会員相互の交流を深めて頂きたいと思います。

最後になりましたが本大会の開催にあたり、ご協力を賜りました関係各位の皆様に心からお礼を申し上げます。また、NTTグループおよび関連会社の空手道愛好家の方々の参加のもと、本連盟の今後さらなる発展と皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。

大 会 役 員

大 会 会 長 川添 雄彦 (NTT副社長)

大 会 副 会 長 浅谷 耕一 (工学院大学古武術部)

大 会 副 会 長 藤田 拓 (NTTデータ空手道部)

実 行 委 員 長 水野 伸太郎 (NTT通研空手道部)

実 行 委 員 長 岩元 祐 (NTTデータ空手道部)

実 行 委 員 小島 孝治 (工学院大学古武術部)

実 行 委 員 田中 康雄 (NTT東京空手道部)

実 行 委 員 秋永 弘 (NTT東京空手道部)

実 行 委 員 藤村 和久 (工学院大学古武術部)

実 行 委 員 高野 誠 (NTT通研空手道部)

実 行 委 員 堀田 英一 (NTT通研空手道部)

実 行 委 員 山角 修一 (NTT鹿児島空手道部)

実 行 委 員 土田 淳一 (NTT東北空手道部)

大 会 幹 事 田中 勝志 (NTT東京空手道部)

大 会 幹 事 前大道 浩之 (NTT通研空手道部)

大 会 幹 事 佐藤 慎一 (NTTデータ空手道部)

大会監査

大会監査	浅谷 耕一	(工学院大学古武術部)
大会監査	藤田 拡	(NTTデータ空手道部)

大会審判

審判長	佐藤 慎一	(NTTデータ空手道部)
副審判長	前大道 浩之	(NTT通研空手道部)
審判員	淺谷 耕一	(工学院大学古武術部)
審判員	秋永 弘	(NTT東京空手道部)
審判員	荒木 栄治	(NTT東京空手道部)
審判員	小島 孝治	(工学院大学古武術部)
審判員	松山 智香	(NTTデータ空手道部)
審判員	田中 康雄	(NTT東京空手道部)
審判員	水野 伸太郎	(NTT通研空手道部)
審判員	藤村 和久	(工学院大学古武術部)
審判員	森藤 知英	(工学院大学古武術部)
審判員	園田 みゆき	(工学院大学古武術部)
審判員	長沼 紀裕	(工学院大学古武術部)
審判員	佐藤 栄哉	(工学院大学古武術部)
審判員	高野 誠	(NTT通研空手道部)
審判員	堀田 英一	(NTT通研空手道部)
審判員	船田 信介	(NTTデータ空手道部)
審判員	岩元 祐	(NTTデータ空手道部)

大会プログラム

第一部 開会式

- | | | | |
|-----------|------------|--------|--------------|
| 1. 開会宣言 | 大会実行委員長 | 水野 伸太郎 | (NTT通研空手道部) |
| 2. 開会の辞 | 大会副会長 | 藤田 拡 | (NTTデータ空手道部) |
| 3. 国旗掲揚 | 君が代 | | |
| 4. 優勝杯の返還 | | | |
| 5. 選手宣誓 | 昨年大会 組手優勝者 | 藤村 和久 | (工学院大学古武術部) |
| 6. 審判注意 | 大会審判長 | 佐藤 慎一 | (NTTデータ空手道部) |

第二部 形試合

- 有級男子の部
有級女子の部
有段女子の部
シニアの部
有段男子の部

第三部 演武

第四部 組手試合

- 女子の部
男子の部
団体の部

第五部 閉会式

- | | | | |
|---------|----------|-------|--------------|
| 1. 表彰 | | | |
| 形試合 | | | |
| 組手試合 | | | |
| 2. 大会講評 | 大会副会長 | 淺谷 耕一 | (工学院大学古武術部) |
| 3. 閉会宣言 | 大会実行副委員長 | 岩元 祐 | (NTTデータ空手道部) |

参加団体

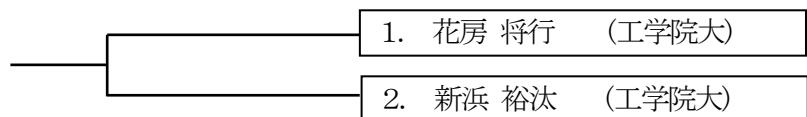
- NTT東京空手道部
NTT通研空手道部
NTTデータ空手道部
工学院大学古武術部

大会進行予定表

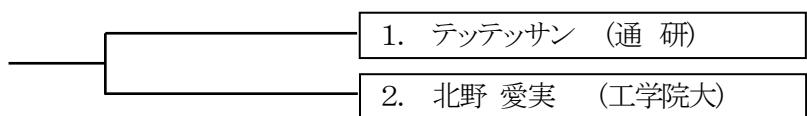
項目	種別	開始	終了	試合等数
開会式		13:00	～ 13:15	
形試合	有級男子	13:20	～ 13:23	1
	有級女子	13:23	～ 13:26	1
	有段女子	13:26	～ 13:30	1
	シニア	13:30	～ 13:38	3
	有段男子	13:38	～ 13:50	10
演武	各部	13:50	～ 14:00	4
組手試合	有段	14:00	～ 14:10	8
	団体	14:20	～ 14:50	9
閉会式	表彰	15:15	～ 15:45	9

形試合

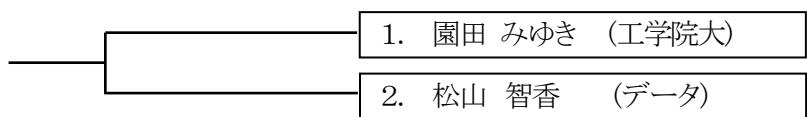
有級男子の部



有級女子の部



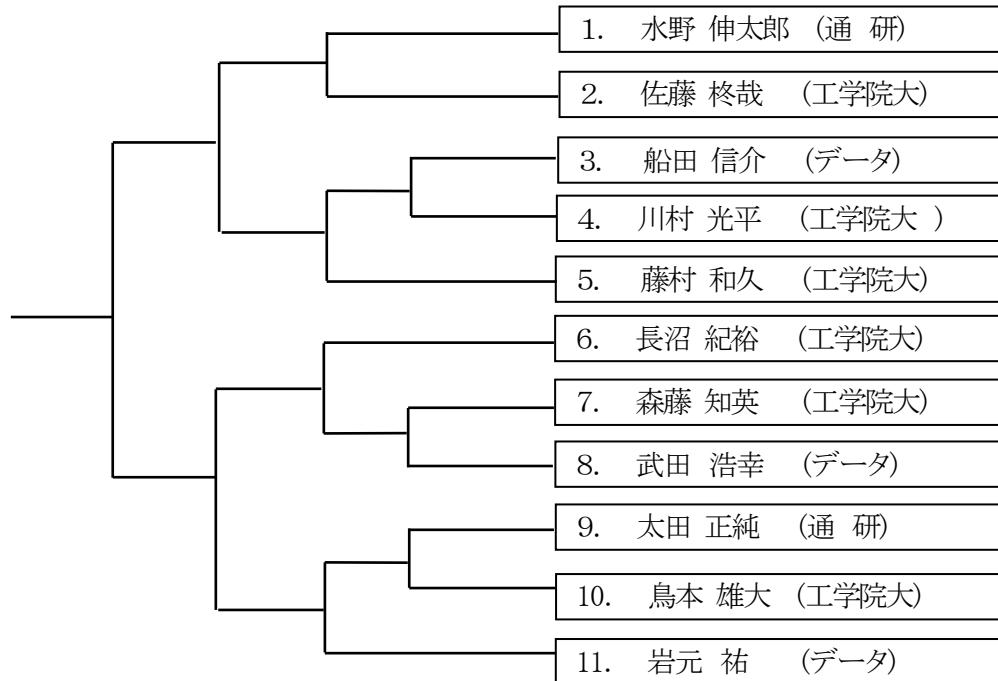
有段女子の部



シニアの部

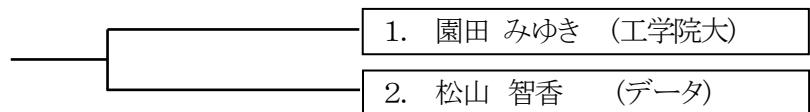


有段男子の部

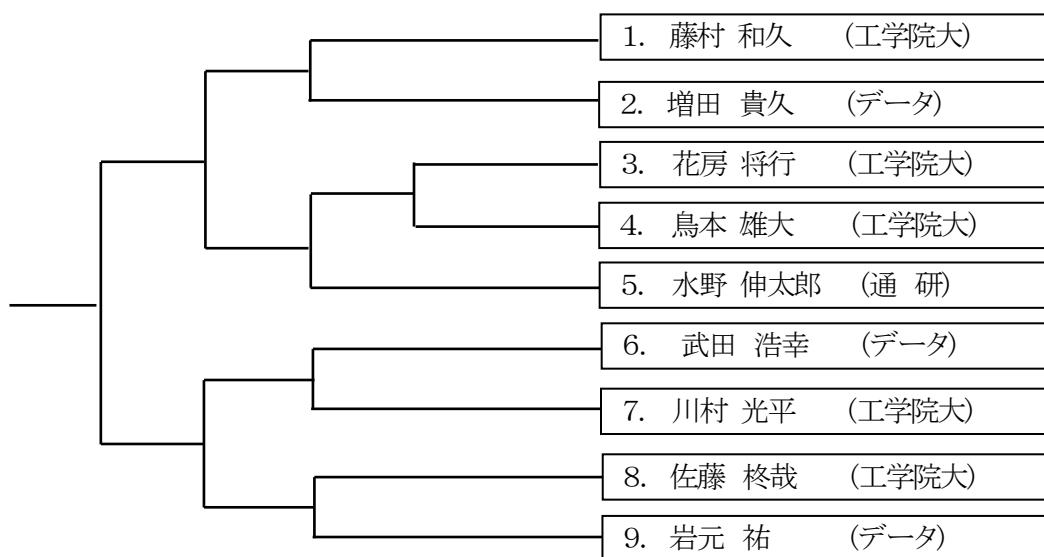


組手試合

有段女子の部



有段男子の部



団体の部



団体チーム構成

	データ	
1	監督	岩元 祐
2	大将	武田 浩幸
3	中堅	岩元 祐
4	先鋒	増田 貴久
5	補欠	

	工学院大 A	
1	監督	藤村 和久
2	大将	藤村 和久
3	中堅	長沼 紀裕
4	先鋒	佐藤 栄哉
5	補欠	

	工学院大 B	
1	監督	鳥本 雄大
2	大将	鳥本 雄大
3	中堅	川村 光平
4	先鋒	花房 将行
5	補欠	

大会競技規定

本大会は、全日本空手道連盟競技規定、ならびに、少林寺流審判規定に基づき、事前の申し合わせ事項を準用して実施する。

1. 組手

競技内容			安全具の着用				
種目	時間	勝負	メンホー	拳サポータ	胴プロテクタ	イン/シンガート	ファウルカップ
女子	1分30秒 フルタイム	4ポイント先取	○	○	○	○	—
有級							○
シニア							
有段							
団体	2分フルタイム	2ポイント先取	指定防具（貸与）着用				○

個人組手試合は、以下の防具を必ず着用すること

- ①メンホー、マウスシールド、拳サポーター（赤青のもの）、胴プロテクター（道着の中）、インステップガード・シンガード（赤青、白色も可）、ファウルカップ（男子のみ）
- ②団体組手試合は、少林寺流指定の防具を着用すること
- ③テーピングは事前に主審の許可を得ること
- ④団体戦で勝敗数が同数かつ総ポイント数も同数の場合は、代表決定戦を行う。
その結果でも同数の場合は判定とする。

2. 形（フラッグ方式）

種目	1回戦	2回戦以降
有級		自由形
女子	指定形 (次項参照)	(決勝まで同一形演武可)
シニア		自由形
有段		(2回連続して同一形の演武禁止)

1回戦：指定形（本書末記載の全空連基本形、全空連指定形、当連盟指定形より選定）

有級、女子は、同じ形の繰り返しも可。

有段、シニアは、2つの形を交互に演武可。

判定は、選手をコート外に立たせ、主審が判定宣告を行う。

「1回戦」とはトーナメント山組の1回戦とする（選手にとって初戦という意味ではない）。

準決勝までは2名同時演武、決勝戦は1名ずつの演武とする。

3. その他

- ①形、組手とも、3位決定戦は行なわない。
- ②メガネ、ハードコンタクトレンズの使用禁止。（ソフトコンタクトレンズは着用可能）
- ③コロナ感染対策実施事項
 - ・マスク着用任意／防具等消毒

全空連基本形一覧

流派	全空連基本形				
基本形一	ゲキサイ第一	ゲキサイ第二			
基本形二	平安初段	平安二段	平安三段	平安四段	平安五段
基本形三	平安初段	平安二段	平安三段	平安四段	平安五段
基本形四	ピンアン初段	ピンアン二段	ピンアン三段	ピンアン四段	ピンアン五段

全空連指定形一覧

流派	全空連第一指定形		全空連第二指定形	
松涛館流	慈恩	観空大	観空小	燕飛
糸東流	バッサイ大	セイエンチン	松村ローハイ	ニーパイボ
和道流	セイシャン	チントウ	クーシャンクー	ニーセーシ
剛柔流	サイファ	セイパイ	セイサン	クルルンファ

当連盟指定形一覧

流派	当連盟指定形		
松涛館流	鉄騎初段	鉄騎二段	鉄騎三段
少林寺流	半月(セーサン)	南光(アーナンクー)	ワンシュー

※表彰対象

- 原則、1回以上の勝ち名乗りを受けた選手が対象(対戦相手棄権を含む)。
- 参加者が3名以下の種目は、優勝1名のみ表彰する。
- 参加者が4~7名の種目は、優勝1名、準優勝1名を表彰する。
- 参加者が8名以上の種目は、優勝1名、準優勝1名、3位 2名を表彰する。